

# 会社紹介

2023.12.19



山村フォトニクス株式会社

---

硝子事業部

# 山村フォトニクス について

山村フォトニクスは、1949年に真空管用ガラス製品の製造からスタートしました。

ガラス材料技術およびガラスと金属の接合技術をコア技術とし、現在では電子部品の製造に加え、ガラスセラミックス材料の開発製造も行っています。

横浜に2つの工場を保有し、本社工場ではガラス加工製品とガラスセラミックス材料を、横浜工場ではガラスと金属を組み合わせた光学部品を製造しています。

## ■沿革

- 1949年 日本電気真空硝子(株)として設立
- 1980年 半導体レーザー向けパッケージ事業開始
- 1998年 ISO9001取得
- 1999年 ガラスセラミックス事業開始
- 2000年 ISO14001取得
- 2010年 日本山村硝子(株)のグループ会社化



**本社工場** (横浜市都筑区)



**横浜工場** (横浜市神奈川区)



# 山村フォトニクス について

山村フォトニクスは、2010年より、ガラスびん製造国内最大手の日本山村硝子のグループ会社となりました。

山村グループの中でも、非パッケージング分野の中核を担うニューガラスセグメントの一員として、新規分野への事業展開の一角を担っています。



# 山村フォトニクス について

山村フォトニクスは、

硝子事業部

キャップ部品事業部

ガラスセラミックス事業部

の3つの事業を展開しています。

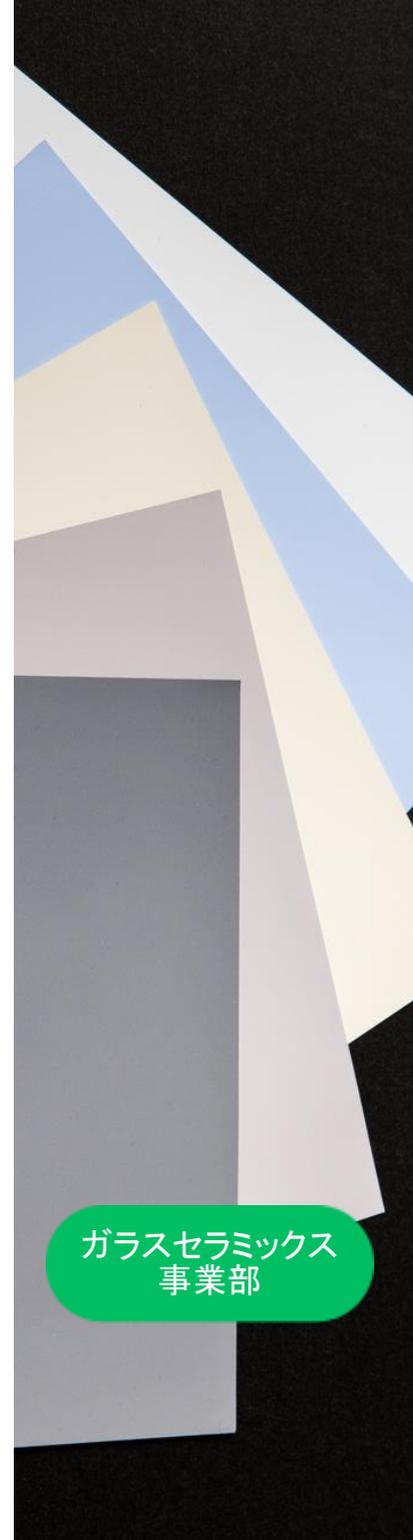
山村グループのシナジーを発揮し、ガラス材料の「知」とガラス加工の「技」を組み合わせたユニークな部品・材料の開発製造に挑戦しています。



硝子  
事業部



キャップ部品  
事業部



ガラスセラミックス  
事業部

# 硝子事業部 について

硝子事業部では、職人の手作業によって製品を製造しています。長年にわたり蓄積した技術と知見に基づき、高品質かつ信頼性の高い製品を提供しています。





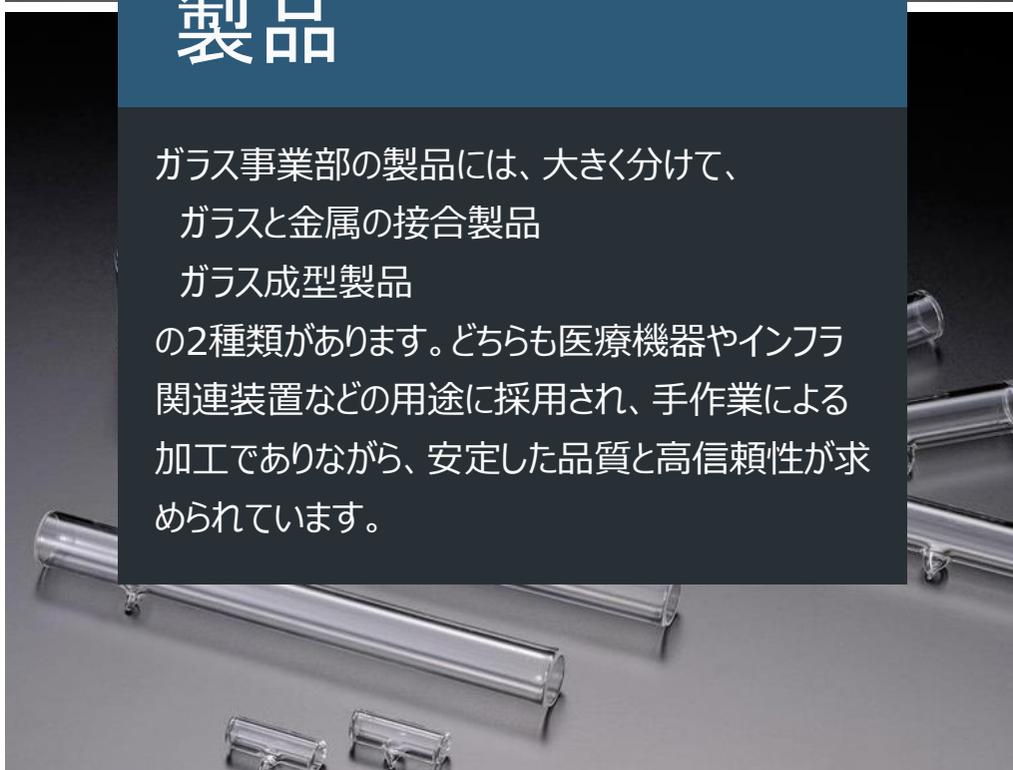
## 硝子事業部 製品

ガラス事業部の製品には、大きく分けて、

ガラスと金属の接合製品

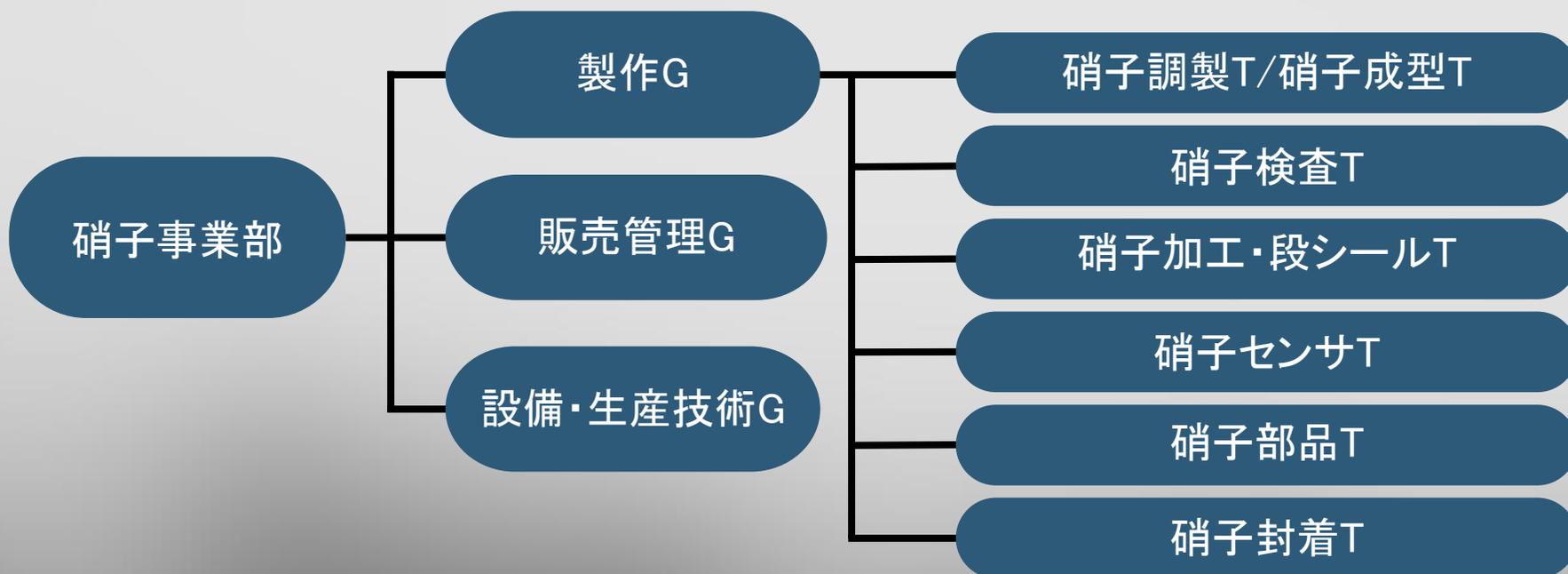
ガラス成型製品

の2種類があります。どちらも医療機器やインフラ  
関連装置などの用途に採用され、手作業による  
加工でありながら、安定した品質と高信頼性が求  
められています。



# 硝子事業部 組織図

硝子事業部は、3つのグループから成っています。  
さらに製造を担う製作Gでは、加工技術毎に細分化したチームを作り、各製品の製造に取り組むとともに、技術の研鑽と多能工化に努めています。





## 硝子事業部 仕事内容：成型

吹き加工の技術と金型設計の技術を組合せ、機械では難しい形状のガラス製品を加工しています。種の巻き取りから成形までを一人ひとりが担当し、一日あたりの最低生産数を設定することで計画的な製造を行っています。

## 硝子事業部 仕事内容：封着

山村フォトニクスのコア技術であるガラスと金属の接合技術により、高真空が求められる部品の製造を行っています。

適切な材料と形状の設計に加え、接合加工時には細やかな調整技術が必要となる仕事です。



## 硝子事業部 仕事内容：検査

高品質製品を提供するため、出来上がった製品は一つひとつ検査を行います。  
インフラや医療機器などに使用され、長期的に使用される場合も多いことから、日々の検査はもちろんのこと、不具合発生時には原因調査・改善活動に取り組めます。



# 硝子事業部のこれから

---

硝子事業部では、将来的な事業継続のため、下記の2つの課題に特に力をいれて取り組んでいきます。

## 技術の継承

新卒・中途問わず、積極的に人材を採用します。これまでに蓄積してきたガラス加工技術と知見を余すところなく継承し、社会に欠かせない製品をこれからも提供し続けます。

---

## 新技術の開発

職人の手作業にとどまらず、自動化などの新技術導入による生産能力強化にも挑戦します。現状にとらわれず、新しい技術にチャレンジすることで、自社の価値を高め続けます。

---

# Thank you!

山村フォトンクス株式会社

〒224-0053

神奈川県横浜市都筑区池辺町4207



yamamura\_photonics@yama-ph.co.jp



<https://www.yama-ph.co.jp/>



045-930-1811